

高岡労働基準監督署署長（芦田圭）は、令和7年5月14日、富山新港火力発電所において開催された富山新港火力発電所協力会社安全衛生推進協議会の定期総会に出席し、同協議会会員事業場55社の参加者を対象に安全講話を行いました。

「リスクアセスメントとメンタルヘルス」をテーマに労働者の怪我や疾病を防止するために管理職が取り組むべき必要な措置などについて説明しました。

高岡労働基準監督署では、今年から労働災害防止のスローガンとして

「令和7年 超えるな 労災300の壁！」
を掲げて災害件数の縮減に取り組んでおります。

皆様、引き続き「ご安全に！」

